



# Intel E5-2600 v2/E5 -2400 v2 シリーズ CPU 用 Cisco UCS C シリーズ サーバアップグレード ガイド



注意

Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を使用するために既存のサーバをアップグレードする場合は、このガイドの手順に従ってください。これらの手順に従わないと、サーバが起動しなくなる場合があります。

このマニュアルは、Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を使用するために Cisco UCS C シリーズ サーバをアップグレードする手順について説明しています。ダウングレードの手順も説明しています。

このガイドの手順は以下のサーバをサポートしています。

- Cisco UCS C220 M3 ラック サーバ (Intel E5-2600 v2 EP CPU を使用)
- Cisco UCS C240 M3 ラック サーバ (Intel E5-2600 v2 EP CPU を使用)
- Cisco UCS C22 M3 ラック サーバ (Intel E5-2400 v2 EN CPU 使用)
- Cisco UCS C24 M3 ラック サーバ (Intel E5-2400 v2 EN CPU 使用)

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページ](#)
- [Cisco UCS C シリーズ サーバの Intel E5-2600 v2/E5 -2400 v2 シリーズ CPU へのアップグレード、3 ページ](#)
- [Cisco UCS C シリーズ サーバの Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU からのダウングレード、6 ページ](#)



Americas Headquarters:  
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

## ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件

ここでは、次の内容について説明します。

- [Cisco UCS C220/C240 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページ](#)
- [Cisco UCS C22/C24 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページ](#)

### Cisco UCS C220/C240 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件

Intel E5-2600 v2 シリーズ CPU をサポートする Cisco UCS C220/C240 サーバに必要な最小のソフトウェアおよびファームウェア バージョンは次のとおりです。

表 1 Cisco UCS C220/C240 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件

ソフトウェアまたはファームウェア	最小バージョン
Cisco UCS Manager (UCSM 管理対象ストレージシステムのみ)	2.1 (3)
サーバ CIMC	1.5 (3)
サーバ BIOS	1.5 (3)

### Cisco UCS C22/C24 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件

Intel E5-2400 v2 シリーズ EN CPU をサポートする Cisco UCS C22/C24 サーバに必要な最小のソフトウェアおよびファームウェア バージョンは次のとおりです。

表 2 Cisco UCS C22/C24 のソフトウェアおよびファームウェアの最小要件

ソフトウェアまたはファームウェア	最小バージョン
Cisco UCS Manager (UCSM 管理対象ストレージシステムのみ)	現時点ではサポートされていません。
サーバ CIMC	1.5 (5)
サーバ BIOS	1.5 (5)



(注)

**Cisco UCS C22/C24 サーバのみ:** Cisco UCS Manager の制御下で統合されたサーバを使用する場合は、Cisco UCS C22/C24 サーバを Intel E5-2400 v2 シリーズ CPU にアップグレードしないでください。Intel E5-2400 v2 シリーズ CPU を搭載した Cisco UCS C22/C24 サーバは、現時点では Cisco UCS Manager での統合をサポートしません。

# Cisco UCS C シリーズ サーバの Intel E5-2600 v2/E5 -2400 v2 シリーズ CPU へのアップグレード



(注) これらのアップグレード手順にはサーバのダウンタイムが必要です。

ここでは、次の内容について説明します。

- アップグレードシナリオ 1:UCSM 管理サーバ、3 ページ
- アップグレードシナリオ 2:スタンドアロンサーバ、4 ページ
- アップグレードシナリオ 3:スタンドアロンサーバ、スペアサーバ上の BIOS が最小バージョンより前の場合、4 ページ

## アップグレードシナリオ 1:UCSM 管理サーバ



(注) **Cisco UCS C22/C24 サーバのみ:**Cisco UCS Manager の制御下で統合されたサーバを使用する場合は、Cisco UCS C22/C24 サーバを Intel E5-2400 v2 シリーズ CPU にアップグレードしないでください。Intel E5-2400 v2 シリーズ CPU を搭載した Cisco UCS C22/C24 サーバは、現時点では Cisco UCS Manager での統合をサポートしません。

このシナリオは、次の条件を前提としています。

- C シリーズサーバが Cisco UCS Manager によって管理されている。
- Cisco UCS Manager ソフトウェアが最小より前である(ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。
- C シリーズサーバが最小より前の BIOS/CIMC バージョンである(ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。
- C シリーズサーバが、Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズよりも前の CPU を使用している。

この場合、以下の手順に従ってサーバと CPU をアップグレードします。

- ステップ 1** お使いのサーバの Cisco UCS Manager ソフトウェアを最小バージョン(以降)にアップグレードします。
- 該当する Cisco UCS Manager アップグレードガイド(現在のソフトウェアバージョンによって異なる)『[Cisco UCS Manager Upgrade Guides](#)』の手順を使用します。
- ステップ 2** Cisco UCS Manager を使用して、お使いのサーバ CIMC を最小バージョン(以降)にアップグレードしてアクティブにします。
- Cisco GUI または CLI UCS Manager の『[Firmware Management Guide](#)』の手順を使用します。
- ステップ 3** Cisco UCS Manager を使用して、お使いのサーバ BIOS を最小バージョン(以降)にアップグレードしてアクティブにします。
- Cisco UCS Manager GUI または CLI『[Firmware Management Guide](#)』の手順を使用します。
- ステップ 4** サーバの電源を切ります。

- ステップ 5 CPU を Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU に交換します。  
お使いのサーバのインストールおよびサービス ガイド『[Cisco UCS C-Series Installation and Upgrade Guides](#)』の CPU 交換手順を使用します。
- ステップ 6 サーバの電源をオンにします。
- ステップ 7 Cisco UCS Manager が自動的にサーバを検出してアソシエイトするのを待ちます。

## アップグレードシナリオ 2: スタンドアロンサーバ

このシナリオは、次の条件を前提としています。

- C シリーズ サーバがスタンドアロン モードに入っている。
- C シリーズ サーバが最小より前の BIOS/CIMC バージョンである (ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。
- C シリーズ サーバが、Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズよりも前の CPU を使用している。

この場合、以下の手順に従ってサーバと CPU をアップグレードします。

- ステップ 1 Cisco Host Upgrade Utility (HUU) を使用して、お使いのサーバのサーバ CIMC および BIOS を最小バージョン (以降) にアップグレードしてアクティブにします。  
お使いの最小リリース (以降) の『[Cisco Host Upgrade Utility User Guide](#)』の手順を使用して、ユーティリティ パッケージをダウンロードして使用します。



### 注意

更新するコンポーネントを選択するときに CIMC および BIOS を忘れずに更新してください。Cisco HUU がファームウェアの一致を確認します。CIMC および BIOS が一致するまでサーバはブートしません。

- ステップ 2 サーバの電源を切ります。
- ステップ 3 CPU を Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU に交換します。  
お使いのサーバのインストールおよびサービス ガイド『[Cisco UCS C-Series Installation and Upgrade Guides](#)』の CPU 交換手順を使用します。
- ステップ 4 サーバの電源をオンにします。

## アップグレードシナリオ 3: スタンドアロンサーバ、スペアサーバ上の BIOS が最小バージョンより前の場合

このシナリオは、すでに Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を搭載しているサーバを置き換える必要があるが、唯一利用可能な交換用サーバが最小バージョンより前の BIOS を搭載しているというフィールドサービスの状況に特有のものです。

このシナリオは、次の条件を前提としています。

- C シリーズ サーバがスタンダアロン モードに入っている。
- 交換用の C シリーズ サーバが (CPU を古いサーバから付け替えた後) Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を使用している。
- 交換用の C シリーズ サーバがお使いのサーバの最小バージョンより前の BIOS/CIMC バージョンを使用している (ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。

交換用サーバ BIOS を必要なバージョンにアップグレードするには以下の手順を実行します。

- ステップ 1** Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU (およびその他のコンポーネント) を交換用サーバに付け替えた後、交換用サーバの電源をオンにします。



(注) BIOS が新しい CPU に必要なバージョンより前のバージョンのため、サーバがブートしません。

CPU がブート不可能の場合は、CIMC および BIOS のアップグレードに推奨される Cisco Host Upgrade Utility (HUU) を使用できません。ただし、HUU ISO イメージにはブラウザ経由でサーバを更新するために必要なイメージが保存された Zip ファイルが含まれています。ブラウザを使用して、お使いのサーバのサーバ BIOS を最小バージョン (以降) にアップグレードする次のステップに進みます。

- ステップ 2** Cisco.com からお使いの最小リリース (以降) の HUU ISO ファイルをダウンロードして、ラップトップまたはその他のコンピュータに保存します。

お使いのリリースの『[Cisco Host Upgrade Utility User Guide](#)』の手順を使用します。

- ステップ 3** ISO イメージをマウントします。

- ステップ 4** ISO イメージに含まれている Zip ファイルを解凍します。



(注) CIMC にログインするためのターゲット サーバの IP アドレスを特定するには、次のステップに従って、DHCP 対応ネットワークにサーバを接続する必要があります。

- ステップ 5** アップグレードするターゲット サーバの IP アドレスを特定します。

- ターゲット サーバのどのポートがデフォルトで有効になっているかによって、専用の管理ポートまたは LOM1 ポートの物理 MAC アドレス ラベルを調査します。
- DHCP 対応ネットワーク用のイーサネット ケーブルを専用の管理ポートまたは LOM 1 ポートに接続します。  
DHCP サーバがそのポートに IP アドレスを割り当てます。
- 接続したポートの MAC アドレスに基づいて DHCP サーバを照会します。MAC アドレスに対応するポートの IP アドレスが一覧表示されます。

- ステップ 6** ブラウザで CIMC GUI を使用して、ターゲット サーバの IP アドレスに管理者としてログインします。

- ステップ 7** CIMC GUI を使用して、お使いのサーバの CIMC 最小バージョン (以降) をインストールしてアクティブにします。

お使いのリリースの『[Cisco UCS C-Series Integrated Management Controller GUI Configuration Guide](#)』の手順を使用します。



注意

新しい BIOS ファームウェアをインストールする場合は、サーバで動作している CIMC ファームウェアと同じソフトウェア リリースの BIOS ファームウェアにする必要があります。一致する CIMC ファームウェアをアクティブ化するまでは、新しい BIOS ファームウェアをインストールしないでください。インストールすると、サーバがブートしなくなります。

- ステップ 8** 管理者としてログインしたまま、CIMC GUI を使用して、お使いのサーバの BIOS 最小バージョン(以降)をインストールします。
- お使いのリリースの『[Cisco UCS C-Series Integrated Management Controller GUI Configuration Guide](#)』の手順を使用します。
- サーバと CPU がブートします。

## Cisco UCS C シリーズサーバの Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU からのダウングレード



(注)

このダウングレード手順ではサーバのダウンタイムが必要になります。

ここでは、次の内容について説明します。

- [ダウングレード シナリオ 1:UCSM 管理サーバ、6 ページ](#)
- [ダウングレード シナリオ 2:スタンドアロンサーバ、7 ページ](#)

### ダウングレード シナリオ 1:UCSM 管理サーバ

このシナリオは、次の条件を前提としています。

- C シリーズサーバが Cisco UCS Manager によって管理されている。
- Cisco UCS Manager ソフトウェアが最小バージョン以降になっている(ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、[2 ページ](#)を参照)。
- C シリーズサーバがすでに BIOS/CIMC 最小バージョン以降になっている。
- C シリーズサーバが Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズの CPU を使用している。

以前にサポートされていた CPU にダウングレードするには以下の手順に従います。

- ステップ 1** サーバの電源を切ります。
- ステップ 2** Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を以前のサポート対象の CPU に交換します。
- お使いのサーバのインストールおよびサービス ガイド『[Cisco UCS C-Series Installation and Upgrade Guides](#)』の CPU 交換手順を使用します。
- ステップ 3** サーバの電源をオンにします。

ステップ 4 Cisco UCS Manager が自動的にサーバを検出してアソシエイトするのを待ちます。



(注) サーバ CIMC および BIOS を含む CIMC バンドルは、以前サポートされていた CPU と下位互換性があるため、次のファームウェア ダウングレード ステップは省略可能です。

ステップ 5 オプション:サーバ CIMC をダウングレードします。

お使いのリリースの GUI または CLI『[Integrated Management Controller Configuration Guide](#)』の CIMC ファームウェア管理手順を使用します。

ステップ 6 オプション:サーバ BIOS をダウングレードします。

お使いのリリースの GUI または CLI『[Integrated Management Controller Configuration Guide](#)』の CIMC ファームウェア管理手順を使用します。

## ダウングレードシナリオ 2: スタンドアロンサーバ

このシナリオは、次の条件を前提としています。

- C シリーズ サーバがスタンドアロン モードに入っている。
- Cisco UCS Manager ソフトウェアが最小バージョン以降になっている(ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。
- C シリーズ サーバが BIOS/CIMC 最小バージョン以降を使用している(ソフトウェアおよびファームウェアの最小要件、2 ページを参照)。
- C シリーズ サーバが Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズの CPU を使用している。

以前にサポートされていた CPU にダウングレードするには以下の手順に従います。

ステップ 1 サーバの電源を切ります。

ステップ 2 Intel E5-2600/E5-2400 v2 シリーズ CPU を以前のサポート対象の CPU に交換します。

お使いのサーバのインストールおよびサービス ガイド『[Cisco UCS C-Series Installation and Upgrade Guides](#)』の CPU 交換手順を使用します。

ステップ 3 サーバの電源をオンにします。



(注) サーバ CIMC および BIOS を含む CIMC バンドルは、以前サポートされていた CPU と下位互換性があるため、次のファームウェア ダウングレード ステップは省略可能です。

ステップ 4 オプション:サーバ CIMC をダウングレードします。

お使いのリリースの GUI または CLI『[Integrated Management Controller Configuration Guide](#)』の CIMC ファームウェア管理手順を使用します。

ステップ 5 オプション:サーバ BIOS をダウングレードします。

お使いのリリースの GUI または CLI『[Integrated Management Controller Configuration Guide](#)』の CIMC ファームウェア管理手順を使用します。

